



## 2019年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年4月26日

上場会社名 東亜合成株式会社

上場取引所 東

コード番号 4045 URL <http://www.toagosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 美己志

問合せ先責任者 (役職名) グループ経営本部IR広報部長 (氏名) 根本 洋

TEL 03-3597-7215

四半期報告書提出予定日 2019年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	35,248	3.6	4,045	0.9	4,427	9.3	3,025	1.2
2018年12月期第1四半期	36,549	3.8	4,082	14.9	4,052	18.2	3,063	13.6

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 3,189百万円 (451.0%) 2018年12月期第1四半期 578百万円 (86.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	22.99	
2018年12月期第1四半期	23.27	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	239,582	192,549	78.3
2018年12月期	241,164	191,296	77.3

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 187,702百万円 2018年12月期 186,419百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年12月期の連結財政状態については、当該会計基準を遡って適用した後の数値となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		14.00		14.00	28.00
2019年12月期					
2019年12月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2019年12月期(予想)の第2四半期末配当の内訳 普通配当 14円00銭 記念配当 1円00銭  
2019年12月期(予想)の期末配当の内訳 普通配当 14円00銭 記念配当 1円00銭

### 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	73,000	0.2	7,700	1.3	8,300	0.0	5,700	5.0	43.30
通期	150,000	0.0	16,500	0.6	17,600	1.1	11,900	6.7	90.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期1Q	131,996,299 株	2018年12月期	131,996,299 株
期末自己株式数	2019年12月期1Q	367,405 株	2018年12月期	366,613 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期1Q	131,629,324 株	2018年12月期1Q	131,634,071 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### (ア) 当第1四半期連結累計期間の概況

当第1四半期連結累計期間（2019年1月1日から2019年3月31日まで）の業績は、売上高は352億4千8百万円（前年同期比3.6%減収）、営業利益は40億4千5百万円（前年同期比0.9%減益）、経常利益は44億2千7百万円（前年同期比9.3%増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億2千5百万円（前年同期比1.2%減益）となりました。

#### (イ) セグメント別の業績

##### ①基幹化学品事業

電解製品は、昨年実施したカセイソーダや次亜塩素酸ソーダの価格是正が寄与し増収となりました。アクリルモノマー製品は、シンガポール子会社における一部製品の生産停止が影響し減収となりました。工業用ガスは、販売数量が減少し減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は158億1千7百万円（前年同期比9.7%減収）となりました。

営業利益は、カセイソーダ、次亜塩素酸ソーダの価格是正やアクリルモノマーの固定費削減効果などから、16億4千3百万円（前年同期比15.2%増益）となりました。

##### ②ポリマー・オリゴマー事業

アクリルポリマーは、リチウムイオン二次電池向け製品の販売は増加しましたがその他の製品が全般的に低調に推移し減収となりました。アクリルオリゴマーおよび高分子凝集剤は、販売価格の是正などが寄与し増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は71億4千7百万円（前年同期比1.2%増収）となりました。

営業利益は、アクリルポリマーの減販に加え新規設備稼働に伴い固定費が上昇したことなどから、8億9千1百万円（前年同期比5.8%減益）となりました。

##### ③接着材料事業

瞬間接着剤は、国内販売は概ね堅調に推移しましたが海外市場における販売減少の影響などから減収となりました。機能性接着剤は、高機能情報端末などに使用される反応型接着剤の需要が落ち込んだことなどから減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は26億9千2百万円（前年同期比4.6%減収）となりました。

営業利益は、機能性接着剤や海外における瞬間接着剤の減販の影響などから、4億8千6百万円（前年同期比22.4%減益）となりました。

##### ④高機能無機材料事業

高純度無機化学品は、半導体向けの旺盛な需要が続き液化塩化水素などの高純度無機製品の販売が好調に推移し増収となりました。無機機能材料は、無機抗菌剤の輸出や機能性衣料などに使用される消臭剤の増販などから増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は21億6千3百万円（前年同期比12.2%増収）となりました。

営業利益は、高純度無機化学品および無機機能材料の増販が寄与し、6億9千万円（前年同期比16.5%増益）となりました。

##### ⑤樹脂加工製品事業

管工機材製品は、販売価格の是正などが寄与し増収となりました。建材・土木製品は、新規受注物件が増加したことなどから増収となりました。ライフサポート製品は、新製品投入効果などから増収となりました。エラストマーコンパウンドは、一部製品の販売数量が伸び悩んだことから減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は64億6千8百万円（前年同期比0.1%減収）となりました。

営業利益は、管工機材製品の生産体制再構築にかかる固定費の増加やエラストマーコンパウンドの減販の影響から、2億9千3百万円（前年同期比30.6%減益）となりました。

##### ⑥その他の事業

新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業などにより構成される当セグメントは、売上高は9億6千万円（前年同期比28.7%増収）、営業利益は3千9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

資産合計は、建設仮勘定の増加により有形固定資産の「その他」が増加しましたものの、「受取手形及び売掛金」が減少しましたため、前連結会計年度末に比べ15億8千1百万円、0.7%減少し、2,395億8千2百万円となりました。

負債合計は、法人税等の納付により「未払法人税等」が減少しましたため、前連結会計年度末に比べ28億3千4百万円、5.7%減少し、470億3千2百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ12億5千3百万円、0.7%増加し、1,925億4千9百万円となり、自己資本比率は78.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

文中の将来に関する事項は、本資料の発表日現在において当社グループが判断したものです。

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国の保護主義的な政策は継続し、英国のEU離脱交渉が一層の混迷を深める中、世界的な景気減速への警戒感が強まりました。また、原油やナフサ価格は上昇基調に転じました。一方、わが国経済は、底堅い雇用・所得環境を背景に比較的堅調に推移しましたが、企業業績の見通しが悪化するなど将来に向けての不透明感が高まりました。

このような中、当社グループは、昨年上半期にシンガポール子会社で実施した一部アクリルモノマー製品の生産停止の影響などから減収となりました。また、エレクトロニクス製品やモビリティ材料に使用される高付加価値製品の減販や電力料をはじめとした原燃料価格の上昇が収益を圧迫し、営業利益は若干の減益となりました。

世界経済は、今後とも先行き予断を許さない状況が続くと見込まれます。また、国内においては10月に予定される消費税率引き上げの影響が懸念されます。当社グループにおきましては、製品の需給バランスや価格動向に適切に対処しつつ、新規設備の稼働率を高めることで早期の収益貢献を図ってまいります。なお、2019年2月13日に発表いたしました2019年通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,676	31,312
受取手形及び売掛金	45,154	40,995
有価証券	46,000	46,000
たな卸資産	16,541	17,752
その他	1,531	1,579
貸倒引当金	△39	△38
流動資産合計	141,866	137,601
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,740	20,906
機械装置及び運搬具（純額）	23,624	22,696
土地	17,240	17,547
その他（純額）	5,478	8,116
有形固定資産合計	67,083	69,267
無形固定資産	640	645
投資その他の資産		
投資有価証券	27,792	27,884
退職給付に係る資産	1,514	1,581
その他	2,280	2,615
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	31,573	32,067
固定資産合計	99,297	101,980
資産合計	241,164	239,582

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,472	15,097
短期借入金	2,503	2,503
未払法人税等	2,864	1,111
引当金	19	837
その他	12,987	11,933
流動負債合計	34,847	31,483
固定負債		
長期借入金	9,189	9,189
退職給付に係る負債	153	151
その他	5,677	6,209
固定負債合計	15,020	15,549
負債合計	49,867	47,032
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,886	20,886
資本剰余金	16,499	16,499
利益剰余金	139,682	140,865
自己株式	△296	△297
株主資本合計	176,771	177,953
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,307	8,341
為替換算調整勘定	1,617	1,672
退職給付に係る調整累計額	△277	△265
その他の包括利益累計額合計	9,647	9,748
非支配株主持分	4,876	4,847
純資産合計	191,296	192,549
負債純資産合計	241,164	239,582

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
売上高	36,549	35,248
売上原価	26,381	24,963
売上総利益	10,167	10,285
販売費及び一般管理費	6,085	6,239
営業利益	4,082	4,045
営業外収益		
受取利息	17	8
受取配当金	37	158
持分法による投資利益	69	54
為替差益	—	69
固定資産賃貸料	72	64
その他	31	113
営業外収益合計	227	467
営業外費用		
支払利息	23	25
為替差損	153	—
環境整備費	36	34
遊休設備費	14	14
その他	29	10
営業外費用合計	257	85
経常利益	4,052	4,427
特別利益		
固定資産売却益	—	3
補助金収入	323	1
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	323	4
特別損失		
固定資産処分損	10	4
特別損失合計	10	4
税金等調整前四半期純利益	4,365	4,428
法人税等	1,241	1,348
四半期純利益	3,124	3,079
非支配株主に帰属する四半期純利益	60	53
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,063	3,025



## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
四半期純利益	3,124	3,079
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,120	37
為替換算調整勘定	△433	60
退職給付に係る調整額	8	11
その他の包括利益合計	△2,545	110
四半期包括利益	578	3,189
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	543	3,126
非支配株主に係る四半期包括利益	35	63

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高性能 無機材料 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	17,516	7,062	2,822	1,927	6,474	35,803	746	36,549	—	36,549
セグメント間の内部 売上高または振替高	970	292	116	12	4	1,395	1,418	2,814	△2,814	—
計	18,487	7,354	2,938	1,939	6,478	37,199	2,164	39,363	△2,814	36,549
セグメント利益	1,427	947	626	592	422	4,016	60	4,076	5	4,082

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高性能 無機材料 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	15,817	7,147	2,692	2,163	6,468	34,288	960	35,248	—	35,248
セグメント間の内部 売上高または振替高	1,062	300	14	6	7	1,391	591	1,983	△1,983	—
計	16,880	7,447	2,706	2,169	6,476	35,680	1,552	37,232	△1,983	35,248
セグメント利益	1,643	891	486	690	293	4,005	39	4,044	1	4,045

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。